

# 2023年9月理事会議事録

日 時：2023年9月23日（土）14：00～17：30

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出 席：辻 秀人・大竹幸恵・足立佳代・足立拓朗・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・黒澤 浩・小菅将夫・谷口 榮・谷畑美帆・野口 淳・肥後弘幸・日高慎・藤沢 敦・藤野次史・溝口孝司・水本和美・山崎和巳、監事：都築恵美子、（事務局：林 純子）

欠 席：佐藤宏之・澤田秀実・高倉 純・田尻義了・萩野谷 悟

進 行：岩本 崇

議 長：辻 秀人

岩本理事から、本日の出席者は21名（うち理事20名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

## 会員の訃報について

小菅理事から、岩手県の吉田義昭会員が2021年8月30日、神奈川県の松井 泉会員が2023年7月31日、愛知県の岩野見司会員が8月7日、兵庫県の白谷朋世会員が8月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

## 議案第736号 退会会員の承認について

小菅理事から、岩手県の\*会員、茨城県の\*会員・\*会員、兵庫県の\*会員、沖縄県の\*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

## 議案第737号 理事選挙管理委員の選任及び選挙日程の承認について

小菅理事から、次期（2024年）理事選挙管理委員候補者13名並びに日程の提示があり、原案通り承認された。

## 議案第738号 （仮称）著作権規定等検討ワーキンググループメンバーの選任について

山崎常務理事から、（仮称）著作権規定等検討ワーキンググループについて、各刊行物の担当理事を中心として、佐藤副会長・総務担当の田尻理事・機関誌担当の黒澤理事・年報担当の亀田理事・広報担当の足立理事・萩野谷監事・山崎事務局長の7名で構成するとの説明があり、原案通り了承された。なお、9月10日（日）に日本知的財産協会著作権委員会の講師を招いて勉強会を開催し、会長・両副会長及び事務局長、事務局員が出席したことが報告された。

## 議案第739号 日本考古学協会賞規定の一部を改定する規定について

藤沢理事から、「日本考古学協会賞規定」について改正案が提示された。①第3条第1項において、選考対象となる著作物には論文も含まれることから、「業績書」を「業績」とする。②第3条第1項において、対象となる著作物が発表された期間の「総会開催前年（1

月1日～12月31日)』については協会賞の応募や選考日程から実態に即していないことから「総会開催前々年度(4月1日～翌年3月31日)」とする。また、同第4項の優秀論文賞に発表された期間を追加し、「協会機関誌に総会開催前々年度(4月1日～翌年3月31日)に発表した論文」とする。③改正日は理事会承認日とするが、施行日は現行規定で募集している「第14回日本考古学協会賞」の選考・表彰等が終了する2024年6月1日とする。④選考対象の発表された期間を年度に変更したことにより、第14回・第15回いずれも対象外となる2023年1月1日～3月31日に発表された著作物は、例外として第15回の選考対象に含むことを附則に記載するとの説明があった。審議の結果、「日本考古学協会賞規定の一部を改定する規定」について原案どおり承認され、「日本考古学協会賞規定」を改正し、来年6月1日から施行することとなった。

#### 議案第740号 日本考古学協会事務局職員の給料表等の改定について

肥後理事から、日本考古学協会事務局職員の給与については、2017年4月の東京都職員の基本給料改定表に基づいて基本給与改定表を作成・支給しているが、もととなった東京都職員の給料表はその後改定されており差額が生じていることから、2022年4月に改定された東京都職員の給料表を基とした事務局職員給料表の改定案が提示された。今年度の給料の号給については、地方公共団体の多くが年1回4号ずつ昇給することから、昨年度の基本給から4号昇給することとして10月1日付けで改定額を適用し、給料表改定に伴う予算額不足の場合は予備費で対応するとの説明があり、審議の結果、給料表の改定及び改定日について原案通り承認された。なお、協会の財政を鑑みて、①賞与の支給月数は現行通りとし、来年度の昇給等は予算作成時に検討すること、②今後は概ね4年ごとに給料表の見直し等を含めて給与改定を検討することとした。

#### 議案第741号 「義務教育における歴史学習の始まり」について改善を提言する学術活動への協力依頼について

小菅理事から、社会科・歴史教科書等検討委員会では、小学校の教科書への旧石器時代の掲載を求める提言等を行うために、旧石器時代の研究に関係の深い日本人類学会及び日本旧石器学会に学術活動への協力と連携を依頼し、共同での研究発表会やシンポジウムの開催、関係機関への要望などを行う計画であるとの説明があり、原案通り承認された。

#### 報告第950号 2023年度宮城大会の役割分担及び全体進行について

藤沢理事から、「大会実施要項」に基づき、日程と各理事の出欠状況・役割分担及び全体進行について確認があり、了承された。

#### 報告第951号 アイヌラウンドテーブル報告

藤沢理事から、「これからのアイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル」が行われ、学会からの修正意見を受けてアイヌ研究倫理準備会で検討した「アイヌ民族に関する研究倫理指針(案)」の協議を行ったとの報告があり、7月理事会報告第945号からの主な修正点について説明があった。また、研究倫理審査委員会の設置に向けた委員の選出方法、及びコロナ禍以降休止していた4学協会共催シンポジウムの実

施について説明があり、「アイヌ民族に関する研究倫理指針（案）」の修正案について了承された。

#### **報告第952号 2023年度上半期・正副会長会務報告**

大竹副会長及び辻会長から、定款第24条第3項の定めにより、それぞれ今年度上半期の各種行事・会議の出席等、職務執行状況について報告があった。なお、欠席の佐藤副会長は次回理事会で報告する。

#### **報告第953号 各委員会等における2023年度会議等報告について（その3）**

##### **1 広報委員会の報告**

大竹副会長から、①7月26日に公式サイトリニューアルについて各委員会に担当コンテンツの確認依頼を行い期日までに回答を得た。各担当からの質問点についての回答を8月3日（木）に全理事に配信し、情報を共有した。②9月6日（水）に委員会をオンラインで開催し、公式サイトリニューアルに関する経過内容を確認し、公式サイトの作成に係る仕様書や契約方法について協議した。経過として、i) 8月4日（金）に会長・副会長・事務局長・財務担当理事及び広報委員会委員3名で、公式サイトの発注にあたり仕様書の発注とリニューアル事業の本発注を行う「多段階発注」方式について協議したことを受けて、8月17日（木）に委員会をオンラインで開催し、仕様書作成に専門業者の支援が必要であることを確認した。ii) その後、会長・両副会長による検討で多段階発注は行わない方針が示された。iii) これを受けて協議し、リニューアル行程が計画より大幅に遅れており、また現公式サイトのコンテンツを分析したところ仕様書策定に専門家の支援が必要と判断されることから、今後の事業計画について再検討することとし、10月理事会では新公式サイトの構成・デザイン案を提示する予定であるとの報告があり、了承された。

##### **2 研究環境検討委員会の報告**

亀田理事から、8月23日（水）及び9月1日（金）に委員会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、10月14日（土）に開催するカフェde考古学2023第4回の内容について協議し、第4回のみチラシを作成したとの報告があり、コーディネーターを務める日高理事から詳細な概要が説明された。

続けて岩本理事から、考古学研究会では大学向けのアンケートの実施を検討しており、以前に研究環境検討委員会が同様のアンケートを行っていることから連携事業の提案があり、まず意見交換を行う予定であるとの説明があり、了承された。

##### **3 埋蔵文化財保護対策委員会の報告**

藤野理事から、9月9日（土）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について、進捗状況と課題について品川駅街区の開発計画等の情報提供があり、引き続き注視する。②神奈川県鎌倉市大倉幕府跡について、文化財指定されておらず開発が行われており、また、研究者の大倉幕府想定範囲と埋蔵文化財包蔵地が異なっていることも課題であるとの現状報告があり、引き続き情報収集を図る。③石川県七尾市矢田遺跡について、石川県考古学研究会が要望書を提出したとの情報提供があり、埋

文委としても注視する。④広島市広島城跡について、要望書の回答を受けて対応を検討する。⑤徳島市徳島城跡について、情報収集を行い要望書の発出も検討する。⑥兵庫県南あわじ市門崎砲台跡について、開発計画に伴い発掘調査が実施されており、現地保存の要望書を提出する。⑦出雲市大社基地跡について、開発計画があることから要望書の提出を検討する。⑧熊本県水俣市百聞排水口及び樋門について、解体が検討されており、情報収集を行うとの報告があった。高輪築堤跡について、環境アセスメント方面からのアプローチ等の意見交換が行われた。

#### 4 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

小菅理事から、9月3日（日）に委員会をオンラインで開催し、①歴史教育者協議会全国大会に参加した委員から小学6年時の旧石器時代の取り扱いについて情報提供があった。②旧石器時代の教科書への記載における他学会との連携について協力依頼文書を作成している。③宮城大会におけるポスターセッションのポスター内容の検討を行った。④協会公式サイトリニューアルにあたり、広報委員会からの掲載方法の提案について協議した。⑤12月9日（土）開催のカフェde考古学2023第5回について準備を進めているとの報告があり、了承された。

#### 5 陵墓の報告

日高理事から、①宮内庁から陵墓関係16学協会との陵墓懇談議事録の情報開示請求があり、個人情報の不開示を条件に、開示を了承した。②8月4日（金）に陵墓名称についてのワーキンググループを開催したとの報告があり、了承された。

#### 報告第954号 総会大会の開催地について

藤沢理事から、次年度以降2026年度総会までの総会及び大会の開催地について内諾を得たとの報告があり、了承された。

#### 報告第955号 名義使用の共催及び後援依頼に関わる承認について

山崎常務理事から、①宮城県考古学会から、当会2023年度宮城大会時に東北学院大学博物館で開催する地域展示「復興と発掘調査」（総合展示）についての共催（名義）依頼が、②佐世保市教育委員会から福井洞窟ミュージアムほか全10会場で開催の東南アジア考古学会との共同開催事業の企画展示会「東南アジアの洞窟遺跡」について後援（名義）依頼があり、名義の使用をそれぞれ承認したとの報告があり、了承された。

#### 報告第956号 その他

##### 1 『日本考古学年報76』執筆者選定について

亀田理事から、『日本考古学協会年報76』執筆者選定について、未連絡の理事に改めて執筆者の連絡が求められた。

##### 2 Japanese Journal of Archaeologyの科研費申請について

溝口理事から、英文機関誌編集委員会では、Japanese Journal of Archaeologyの刊行

について、令和6(2024)年度研究成果公開促進費(科学研究費)国際情報発信強化部門に申請したことが報告され、了承された。

## その他

### 1 アイヌ鎮魂式参列について

山崎常務理事から、公益社団法人北海道アイヌ協会から「アイヌ遺骨及び副葬品の慰霊施設における鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパ」の案内があり、当会を代表して辻会長が参列することが報告された。

以 上